

ひとつでも当てはまったら
ご相談ください。

チェックシート



- 発達がゆっくりな気がする
- 言葉の遅れが気になる
- 呼びかけても振り返らない
- こどもが何を考えているのか分からない
- こどもとの関わり方がわからない・不安
- 生活動作の習得が難しく困っている
- 偏食が強く心配
- こだわりが強く困っている
- 両手を使う、食器を使う、などが苦手
- 体幹がしっかりせず、ふにゃっとしがち
- 相手の気持ちを考えられない言動をする
- 話が一方的で会話が成立しない
- 話し合いができない
- すぐ親子ケンカになってしまう
- かんしゃくを起こす。どう対応したらいいかわからなくて困っている
- 人との関わりが希薄で心配(不登校など)
- 外に出ることをとても嫌がる、怖がる
- 予定の変更が苦手、すぐに混乱する
- 集団行動が苦手、嫌がる

子育てに悩む、ご家族とお子さまへの 発達支援・ご家庭サポート

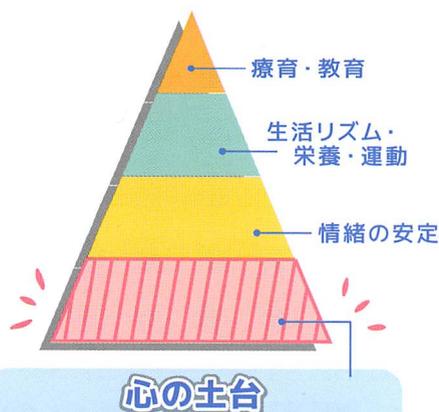
私たちは 親子の様々な困りごとの解決に
一緒に取り組むご家族のライフパートナーです

こども達との関わり



本気で遊ぶ!こども達は一緒に遊んでくれる人を
「信頼」します。遊びを通した信頼関係の土台造りは
何よりも大切な最初のステップ

全ては心の土台の上に積み重なっていく

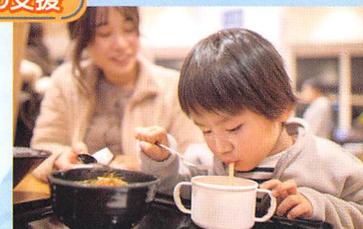


「心のケア⇒安心感」「遊び⇒信頼関係」

※心の土台≒自己肯定感等を含む非認知能力と考えています

知的障がいをもつ子への支援

信頼関係をつくり、その上で
知的障がいのある子の生活
のしづらさ、“食う”“寝る”
“出す(排せつ)”等の生活
動作をサポート



お母さん、お父さんとの
信頼関係も、とても大切
です。悩みを話せて、一
緒に笑い合いながら前に
進んでいける、そんな関
係を創っていきます。

不登校・発達障がいと いわれる子どもたちへの支援

信頼関係ができれば、
次のステップへ。それは
“体験”と“人と関わる”
を通して“世界を広げる”
こと!



親子の関わりサポート

「何を考えているのか、どう
対応したらいいのかわから
ない」というお父さまへの理解
と対応をサポート



親子一緒にお誘いしアウトドア体験

各種検診・診察のサポート

血圧測定や注射の練習、
耳鼻科や眼科検診の練習
など医療行為を受ける練
習を通して、皆が安心して
検診・診察が受けら
れるようサポート



せどながもっとも大切にしているのは、こども達の「心の土台」づくりであり、そのために「心のケアによる安心感」と「遊びを通した信頼関係」づくりが必要と考えています。その土台が育まれることで、情緒の安定・生活リズム・学ぶ力等も安定していきます。

STEP / 訪問看護 ご利用までの流れ

まずはお気軽に・・・

当ステーションに電話またはLINE
面談日を決める

ご自宅か当ステーションにて面談
訪問看護を利用するとなったら

受診し主治医に
『訪問看護を利用したい』
と伝える

訪問指示書を書いてもらい

訪問看護 ご利用開始

1回あたり30分程度のご訪問
訪問回数は週3回まで（医師の指示により例外あり）

- ※ 主治医がいらっしゃらない場合、当ステーションがご相談を承ります。
- ※ 外に出にくい場合もオンライン診療等のご相談も承れます。
- ※ 訪問する看護師は、ご希望であれば私服でのご訪問も可能です。

スタッフ紹介



松村 亨一（看護師・管理者）
子育て真っ最中のパパです。

一人一人の潜在的な「心」「能力」「あたたかさ」を日々の生活の中から引き出し、開花させるお手伝いをします。
せどなのスタッフの訪問を心から楽しみにしてもらえれば最高の喜びです!!

まずはお気軽に /

お電話 または
LINE、Instagram にて
ご相談ください。



☎080-3524-3905
〒591-8006 大阪府堺市北区宮本町4-3奥野ビル301
sedona2331@gmail.com

子ども好きな 看護師さん・リハビリさん(PT,OT,ST)

スタッフ募集中

一緒に楽しく、お仕事で『遊び』しましょう!



訪問看護でこんなことができるんだ!

- 訪問療育
- 発達支援
- お子さまとのかわり方サポート

不登校・発達障がい・知的障がい・HSC etc...
子育てで悩む親御さま

お子さま向けの 訪問看護

保険適用

※ 自己負担に関して自治体により異なりますのでお気軽にお問い合わせください。

- 育児相談
- 服薬相談
- 心のケア
- 栄養相談

遊びを通してこころを育み

家庭に笑顔を届ける



訪問看護ステーション

